

令和8年度 校務分掌運営方針

進路指導部

分掌主任：伊藤潔

◎ 基本的な考え方・ねらい・方針など

1. **進路指導**では生徒が自己の能力・適性に応じて、主体的に進路を選択できる力を身につけさせる。
 - ① 社会の一員としての自覚を芽生えさせ、社会人としての義務と責任を考えるとともに、将来の夢や目標を立て、その夢や目標に対する諸課題を理解し、それを克服していく能力や態度を育成する。
 - ② 生徒が現在及び将来の生き方について主体的な選択や意志決定ができるように、適切な情報提供や説明及び指導によるガイダンス機能を充実させる。生徒個々に応じた適切な助言・支援ができる指導体制を充実させる。
 - ③ 生徒一人一人が自分のよさや個性を理解し、自己と他者の違いに気付き、自己と他者の個性を尊重し、人間関係を円滑に進める力を養うとともに、集団の一員としての役割を理解し、その役割を果たそうとする力を養う。
2. **道徳の時間**では生徒の実態と発達段階に応じた主題を設定し、豊かな道徳的心情を育成させる。
 - ① 道徳の重点目標を核として、全体計画や月別指導案を作成し各学年で道徳授業の実践を進める。
 - ② 「特別の教科道徳」の主旨を踏まえ、「考える道徳」「議論する道徳」を実践するとともに、「問題解決的な学習」「体験的な学習」を適切に取り入れた道徳教育を推進する。
 - ③ 道徳授業地区公開講座の企画運営。
 - ④ 武蔵野赤十字病院との連携を生かして「生命尊重」授業を2学期～3学期にかけて実施する。
3. **特別活動**では生徒の自主性・責任感・協調性を育成し、自尊感情や自己肯定感を育む。
 - ① 行事を通じた感動体験を多く持たせ、集団への帰属感や連帯感を深め、生徒の自主性創造性を育む。
 - ② 学級活動で話し合い活動や集団で協力する活動や一人一役の係活動を通して自主性自発性を高める。
 - ③ 生徒会や実行委員会で話し合いと主体的な活動の場を多く設定し実行力と社会貢献の力を育成する。
4. **総合的な学習の時間**では生徒の課題設定・情報収集・まとめ・発表の過程での適切な支援により、人としての生き方を学び、考え、自らの生きる力の基盤を培う。
 - ① 課題を設定する力、思考力・判断力の育成を図るとともに、学習のまとめには表現力の育成を考え、3学年ともにポスターセッションなどによる発表を行う。
 - ② 自他ともに認めあう協働的な取り組みの中でコミュニケーション能力を育み、共に生きる力を育む。
 - ③ 図書室やICTなどの授業での積極的な活用を図り、情報活用能力を育てる。
 - ④ 3学年を見通した全体計画のもとで、各学年でテーマに沿った学習活動を設定し実行する。
 - ⑤ 年度当初のガイダンス、年度末には相互評価・自己評価を行い、学習の目的を明確化させる。
5. **図書・視聴覚・情報**では生徒のさまざまな学習場面での活用を図り、主体的・対話的な学習に取り組む力を育む。
 - ① 図書室・視聴覚室・放送室・一人一台のタブレット等を整備し、特別活動や授業での有効活用を図る。
 - ② 機器管理を確実にし、特別活動や授業での有効活用を図る。
 - ③ 朝読書やビブリオバトル、読み聞かせ活動など図書室での活動を実施し、生徒の読書力向上を図る。
 - ④ 図書サポーターと連携し、調べ学習の資料の充実を図るなどして積極的に活用する。
 - ⑤ 予算の執行
 - ⑥ 放送室の整備・美化

◎ 本年度の計画

1. **進路指導**では各学年の学習活動を行う際に、学習のねらいを生徒に明確に伝え、キャリア教育についての周知を図るよう努める。また、進路説明会は進路情報同一提供を図るため、生徒保護者同席、全学年保護者対象とする。なお卒業生のお話を聞く会も継続して教室で実施し生徒が積極的に発言できる環境で実施する。3年進路指導では、学力テストを実施しデータの活用を図るとともに、7月・12月に三者面談、10月に進路面談を実施し、進路相談・進路情報の充実を図る。
2. **道徳の時間**では月別指導案例を作成して継続的に実施するとともに、特別な教科道徳との関連を図って資料

を適切に活用するとともに考える時間や話し合う活動を取り入れた授業展開を工夫して指導を行う。年間の重点目標のもとに、道徳授業地区公開講座を統一テーマのもとに企画実施する。武蔵野赤十字病院との連携を生かして生命尊重の授業を本年度も企画し、実施する。

3. **特別活動**では生徒会や委員会活動を活性化し、自治能力の育成を図る。
4. **総合的な学習の時間**では年間指導計画に沿って3年間を見通した学習活動を企画実施する。テーマ学習では特に上級学年では思考力判断力の育成を図る。表現力の育成、言語活動の充実との関連を図り学習のまとめではポスターセッションなどによる発表活動を取り入れる。年度当初のガイダンス年度末のまとめを行い、総合的な学習の時間の学習の成果を実感させる。図書サポーターとの連携を生かして資料の充実を図る。図書室やICT機器を積極的に活用し情報活用能力・判断力を育む。
5. **図書・視聴覚・情報**ではICT機器の管理を行い、利用表の作成や調整表を作成するなどして、主体的に学習に取り組む力を育てる環境の整備や読書活動の充実を図り、予算を執行して環境の充実を図る。

◎ 係分担

分掌分担	内容	1 学年	2 学年	3 学年
全体計画	分掌全体計画・教育課程届出関連 進路学習部資料棚の移動・整理		◎伊藤	
進路指導	3 年入試関係 3 年進路関係資料棚の移動・整理			金井
	進路指導 進路学習 (各学年)	坪田 佐藤	伊藤 阿部	金井
図書	図書委員会指導 ◎学校図書館管理		阿部	
視聴覚 情報	放送委員会指導 放送室管理 ICT機器管理 (市貸与の機器・機材の管理) DVD-R, CD-Rのデータ保管の管理	佐藤		
特別教室 調整	図書室等、特別教室予定表掲示		阿部	
学習指導	◎人権教育推進	◎佐藤		
道徳	道徳 (各学年) ◎道徳推進教師	坪田 佐藤	◎伊藤 阿部	金井
特別活動	特別活動 (各学年及び各行事実行委員会)	各学年・行事委員会		
総合的な 学習の時間	総合的な学習の時間 (各学年)	坪田 佐藤	伊藤 阿部	金井